

季刊誌「周防灘」は、海上保安活動の様子や想い、海を取り巻く現状などをわかりやすく発信し、皆さまにより身近に感じていただくことを目指し、海上保安協会徳山支部が発行します。

購読はこちら☞
(無料定期配信)



2月5日に就役した巡視艇なちかぜ
東京湾における海上公試の様子 (墨田川造船(株)提供)

創刊のあいさつ

このたび、私たちの取り組みをお伝えする広報誌を創刊する運びとなりました。

海は人々の暮らしや産業、そして未来を支えるかけがえのない存在です。

その安全と秩序を守ることが私たちの使命であり、日々、現場では海上保安部の方々強い責任感を胸に職務にあたられています。

本誌では、当協会の目的事業である海上保安活動の様子や想い、海を取り巻く現状などをわかりやすく発信し、皆さまにより身近に感じていただくことを目指します。

海の安全を共に守る輪が、さらに広がっていくことを願っております。

公益財団法人 海上保安協会 徳山支部
支部長 藤井 律子



こんにちは。平素より徳山海上保安部の活動に対して、多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。海上保安協会徳山支部の皆様には広報誌の創刊を心よりお慶び申し上げます。

徳山海上保安部は、山口市、防府市、周南市、下松市、光市、田布施町、平生町及び上関町の沿岸から周防灘、伊予灘の北部の海域を担当し、海上交通の安全確保、海洋環境の保全、海上防災、治安の確保、海難救助などを担います。

本誌を通じて当部の活動をご紹介できることを大変嬉しく思うとともに、皆様の海への関心がより一層高まることを祈念します。

徳山海上保安部長
川合 淳



特集 巡視艇「なちかぜ」就役！



巡視艇「なちかぜ」建造工程の様子



令和7年7月、東京都江東区辰巳所在の墨田川造船(株)において、建造に着工し、約7ヶ月間の工期を経て、巡視艇「なちかぜ」として産声をあげました。

※ 墨田川造船(株)では、海上保安庁の所属船艇のうち、主にPS型以下の巡視艇の建造を行っており、これまでの建造隻数は、累計で204隻(巡視艇「なちかぜ」含む。)となります。

旧巡視艇「なちかぜ」解役式 令和8年1月22日(木)、旧巡視艇「なちかぜ」の解役式を挙行了しました。



新巡視艇「なちかぜ」引渡式 令和8年2月5日(木)、新巡視艇「なちかぜ」の引渡式が挙行されました。



令和8年1月21日(水)に徳山下松港内の仙島で森林火災が発生しましたが、旧なちかぜは解役を待つ老体に鞭を打ち後方支援業務に対応しました。これが最後の航海となり、翌22日(木)に雪舞う寒空の下、解役式を挙行了いたしました。式典では海上保安庁の旗を降下、船体番号の抹消を行い、約31年の巡視艇の一生に幕を閉じました。

乗組員は息つく間もなく、建造造船所へ移動し、2週間弱の短い期間で新なちかぜの操船や搭載機器の慣熟、乗り出し物品の確認等を行いました。

2月5日(木)に建造造船所から海上保安庁へ引き渡され、新なちかぜは海上保安庁の巡視艇として就役しました。

【主要目】	
総トン数	19トン
全長	18メートル
幅	4.3メートル
速力	25ノット以上

旧なちかぜは、平成6年に進水し、現在まで約31年の間、航行した距離が合計218,705マイル(地球10周分)、海難出動件数が485件(救助人数168人)、犯罪検挙件数が695件と警備救難業務に従事し、責務を全う致しました。

新なちかぜは、東京からの回航時、太平洋の荒波にも耐え、無事に徳山に入港することができました。

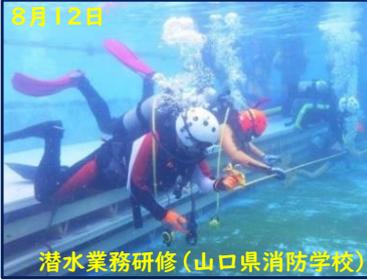
乗組員一同、新なちかぜの歴史の0ページ目から携われたことに喜びを感じております。



なちかぜ 船長



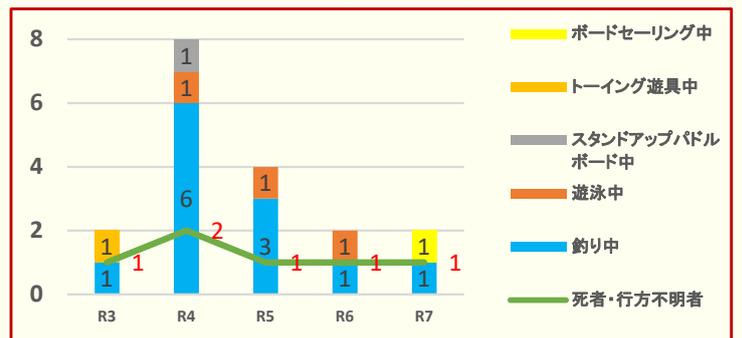
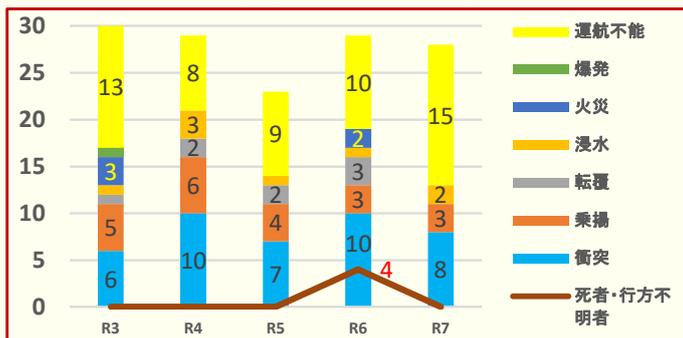
徳山海上保安部 令和7年度活動報告



令和7年の海難発生状況(徳山海上保安部管内)

◎船舶事故 25件28隻(前年比:1隻減)
死者・行方不明者なし(前年比:4人減)

◎マリンレジャー中の人身事故 2件2人(前年比:同数)
死者・行方不明者1人(前年比:同数)



〔船舶事故の特徴〕

・機関故障等による運航不能が最多で15隻発生
⇒(対策) 定期的な点検整備、発航前検査の実施

〔マリンレジャー中の人身事故の特徴〕

・釣り中の事故が毎年発生、令和7年は1人死亡
⇒(対策) ライフジャケットの常時着用、複数人での活動

トピック

ミサゴの雛が「円岩灯標」から巣立つ!



円岩灯標



現場に到着すると、踊場に異様な盛り上がり

頂部にタカのような鳥?



なんと、鳥の巣が踊場を占拠



ミサゴの雛が元気よく鳴いていました!

昨年5月14日(水)、徳山海上保安部所管の「円岩灯標」が消灯しているとの通報があり、調査に向かったところ、踊場に設置してある太陽電池が鳥の巣で覆われており、その中で雛が二羽、親鳥を待って鳴いていました。本来は、巣を撤去して復旧させるところですが、その愛らしい姿に撤去を中止し、雛が巣立つまで見守ることにしました。その間は、代替えの灯器を設置し、船舶交通の安全を確保しました。

持ち帰った画像を基に、鳥の種類を調べたところ、タカの仲間で「ミサゴ」であることが分かりました。英名は「オスプレイ」で、かの有名な軍用機の命名の由来となったといわれているそうです。また、環境省レッドデータリストの準絶滅危惧種で、山口県の保護鳥にも指定されていました。

6月18日(水)、雛が巣立っていることを確認し、巣を撤去して灯火を復旧させました。

女性職員の活躍

▶海上保安庁において女性職員の採用を開始したのは昭和54年。令和6年4月1日現在、その数は全職員の9.5%にあたる1,408人となっています。

▶徳山海上保安部に在籍する女性職員は4人。一人目は管理課。子育てと両立しながら、各種手当の請求、福利厚生、広報等の庶務全般を担い、保安部職員を裏方から支えます。二人目は巡視艇の船長。強いリーダーシップで4人の男性乗組員を引っ張り、昼夜分かたず犯罪取締り、海難救助等に邁進しています。三人目は警備救難課。持ち前の粘り強さで、密漁の取締り、夜を徹しての張り込み、各種犯罪捜査、捜査書類の点検等に奮闘中です。四人目は昨年10月に巡視艇に配属された新人。一日も早く一人前の海上保安官になるべく、先輩たちの厳しくも優しい指導を糧に元気一杯で頑張っています。

▶いずれの女性職員も、周囲への細やかな気配り、柔軟な判断能力を発揮し、保安部になくはない存在となっています。

▶昨年10月には、憲政史上初の女性の内閣総理大臣が誕生しました。海上保安庁でも、海上保安学校校長、海上保安部長、大型巡視船船長など重要ポストへ女性が登用されています。ライフワークバランスの推進、働き方改革やハラスメントの防止に関する研修の実施、女性職員が働きやすい職場環境の整備など女性の活躍を推進する各種取組みも急速に進んでいます。

▶これからは間違いなく女性が躍進し、リーダーとなる時代です。海上保安庁初となる女性の海上保安庁長官が誕生する日もそれほど遠くないかもしれません。



海上保安官募集!

◎ 海上保安大学校(海上保安庁の幹部職員を養成)

- ・受付期間:8月20日(木)~9月7日(月)
- ・第一次試験日:10月24日(土)及び25日(日)
- ・第二次試験日:12月11日(金)

◎ 海上保安学校(各分野のエキスパートを養成)

『一般課程(航海コース、機関コース、通信コース、主計コース、航空整備コース)』、『航空課程』、『海洋科学課程』、『管制課程』があります

- ・受付期間:7月10日(金)~7月23日(木)
- ・第一次試験日:9月27日(日)
- ・第二次試験日:10月20日(火)~10月29日(木)

一次試験合格通知で指定する日時(航空課程は2日間)

※ 航空課程のみ第三次試験まであります

詳細な情報・申込みはWEBで!『国家公務員NAVI』で検索

興味を持たれたら、徳山海上保安部までお尋ねください!



「海上保安友の会」新規会員募集!

海への親しみや海上保庁の業務に関心をお持ちの方、ぜひ「海上保安友の会」にご入会ください。海上保安庁のさまざまな業務を紹介する海上保安新聞や会報誌、巡視船体験乗船などイベントのご案内をお送りします。新規会員紹介キャンペーンも実施中です!

※詳しい内容や入会の手続きは右のQRコードからご覧ください



海の事件・事故は118番

公益財団法人

海上保安協会徳山支部

〒745-0023

周南市那智町3-1



TEL 0834-31-0110